


平地に築かれた城跡
撫川城跡(芝場城跡)



指定区分	県指定史跡
読みかた	なつかわじょうあと
所在地	岡山市北区撫川
指定年月日	昭和32年5月13日
解説	<p>戦国時代に沼地を利用して築かれた城。三村家親(いえちか)によって築城されたと伝えられる。後に毛利氏の城となり、羽柴秀吉の備中高松城攻めの際には、この城でも羽柴勢と激戦が交わされた。その後、宇喜多氏の支配となり、さらに関ヶ原の戦いの後は戸川氏の居城となった。城跡は東西77m、南北57mの長方形であり、周囲に幅15mの堀を巡らす。石垣は北西端の櫓台と思われる張出しなど良好に保存されている。わずか数百メートルの位置に庭瀬城があり、戦国時代までは一つの城であったと考えられる。</p>
アクセス方法	JR庭瀬駅から徒歩10
公開状況	自由
設備	<p>駐車場 </p>
備考	現在の敷地内北側には三神社が鎮座し、撫川城址の史跡公園として周辺住民の憩いの場所となっている。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	撫川城跡(芝場城跡)
よみかた	なつかわじょうあと
しよざいち (所在地)	岡山市北区撫川
していたひ (指定した日)	昭和32年5月13日
せつめい	戦国時代(せんごくじだい)に沼地(ぬまち)につくられた城の跡(あと)です。石垣(いしがき)や堀(ほり)が残っています。史跡公園(しせきこうえん)として地域(ちいき)の人たちのやすらぎの場所(ばしょ)になっています。